

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月8日

上場取引所 大

上場会社名 ホウライ株式会社

コード番号 9679 URL <http://www.horai-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 西山 茂

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 千葉 正裕

TEL 03-3546-2921

四半期報告書提出予定日 平成24年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	2,272	△4.7	35	38.5	86	△31.2	263	337.7
23年9月期第2四半期	2,384	△4.0	25	△71.0	126	△45.7	60	△60.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	18.84	—
23年9月期第2四半期	4.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	24,410	7,399	30.3
23年9月期	24,045	7,173	29.8

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 7,399百万円 23年9月期 7,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,410	8.4	400	109.8	530	30.2	490	97.6	35.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	14,040,000 株	23年9月期	14,040,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	53,023 株	23年9月期	51,875 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	13,987,771 株	23年9月期2Q	13,989,242 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災と原子力発電所事故の影響に加え、欧州の財政危機を背景とした世界経済の減速懸念、円高の影響等により企業収益が減少、雇用情勢も厳しいまま推移しました。一方、設備投資や個人消費には後半、底堅さも見られるようになりました。地域的には、東北・北関東では原子力発電所事故の風評被害が継続しました。

このような状況下、当社は早期に震災前の利益水準に復すべく、各事業とも施策を強化し増収を目指しましたが、保険事業が増収となった以外は、各事業とも前年比減収となりました。一方原価は、不動産事業が前年を上回りましたが、その他の事業は前年比減少しました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益が全体で2,272百万円(前年同四半期比112百万円減)、営業原価は1,972百万円(前年同四半期比118百万円減)、一般管理費は264百万円(前年同四半期比3百万円減)となり、営業利益は35百万円(前年同四半期比9百万円増)となりました。

マーケットからのゴルフ会員権買取りに伴う消却益93百万円(前年同四半期比6百万円減)、社債発行費29百万円等を営業外損益に計上、経常利益は86百万円(前年同四半期比39百万円減)となりました。

さらに平成23年3月11日から平成23年11月30日迄の期間の風評被害等に対する東京電力からの補償金359百万円を特別利益に計上したため、税引後の四半期純利益は263百万円(前年同四半期比203百万円増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①保険事業

生命保険分野は苦戦しましたが、代理店事業譲り受けの効果と新規契約の増加により損害保険分野が増収となり、営業収益は508百万円(前年同四半期比31百万円増)となりました。営業原価はのれん償却の減少により前年を下回り、営業総利益は170百万円(前年同四半期比51百万円増)となりました。

②不動産事業

12月以降テナントの新規入居がありましたが、当累計期間前半の一部空室状況の継続と平均賃料の低下により、営業収益は789百万円(前年同四半期比11百万円減)となりました。営業原価は支払手数料、委託管理費等の増加により前年を上回り、営業総利益は304百万円(前年同四半期比16百万円減)となりました。

③乳業事業

ギフトと日配品の売上低調により、営業収益は346百万円(前年同四半期比59百万円減)となりました。営業原価も減少しましたが、営業総損失は73百万円(前年同四半期比19百万円悪化)となりました。

④観光事業

原子力発電所事故の影響で来場者数が回復せず、営業収益は363百万円(前年同四半期比60百万円減)となりました。来場者の減少に対応して営業時間の短縮、アルバイトの削減等の施策を講じ、営業原価は前年を下回りましたが、営業総損失0.5百万円(前年同四半期は0.4百万円の利益)となりました。

⑤ゴルフ事業

期間限定特別料金を設定する等して来場客の誘致に努めましたが、首都圏からの来場客が回復せず、単価下落もあって、営業収益は265百万円(前年同四半期比12百万円減)となりました。営業原価は、固定費の割合が大きいため小幅な減少に止まり、営業総損失は100百万円(前年同四半期比7百万円の悪化)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、四半期純利益と東京電力からの補償金入金による現金及び預金の増加を主因に、前事業年度末に比較して364百万円増加しました。

負債は、未払法人税等の増加を主因に、前事業年度末に比較して138百万円増加しました。

純資産は、四半期純利益の計上を主因に前事業年度末に比較して226百万円増加しました。自己資本比率は30.3%と前事業年度末に比較して0.5ポイント改善しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,842百万円となり、前事業年度末に比較して519百万円増加しました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税引前四半期純利益の計上と補償金の受取を主因に676百万円の収入(前年同四半期比559百万円の収入増)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、保険積立金の払戻が有形固定資産の取得による支出を上回り15百万円の収入(前年同四半期は275百万円の支出)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、社債の定時償還と借換債発行に係る費用、配当金の支払を主因に172百万円の支出(前年同四半期比40百万円の支出増)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、営業収益は若干計画を下回ったものの、利益は計画を上回りました。しかし当社の業績は、季節的要因により第3・第4四半期の比重が高いため、通期の業績につきましては、平成24年2月7日付「平成24年9月期 第1四半期決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,063,962	3,608,957
受取手形及び売掛金	337,926	326,757
商品及び製品	118,296	100,062
仕掛品	4,421	25,046
原材料及び貯蔵品	72,536	73,210
その他	130,584	120,880
貸倒引当金	△88	△68
流動資産合計	3,727,639	4,254,846
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,000,725	3,903,072
土地	7,056,555	7,056,555
コース勘定	4,834,505	4,834,505
その他(純額)	1,187,702	1,194,987
有形固定資産合計	17,079,489	16,989,121
無形固定資産		
投資その他の資産	110,951	96,178
保険積立金	2,214,195	2,123,574
その他	936,293	969,782
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	3,127,489	3,070,357
固定資産合計	20,317,929	20,155,658
資産合計	24,045,569	24,410,504
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,085	62,410
1年内償還予定の社債	1,750,000	98,000
未払法人税等	5,261	197,957
引当金	34,522	41,535
その他	614,473	649,320
流動負債合計	2,472,343	1,049,222
固定負債		
社債	—	1,602,000
長期預り保証金	14,231,850	14,159,848
引当金	122,190	147,613
資産除去債務	41,946	42,336
その他	4,190	10,004
固定負債合計	14,400,177	15,961,802
負債合計	16,872,521	17,011,025

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	2,292,385	2,485,971
自己株式	△13,294	△13,459
株主資本合計	7,146,693	7,340,115
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,354	59,363
評価・換算差額等合計	26,354	59,363
純資産合計	7,173,047	7,399,479
負債純資産合計	24,045,569	24,410,504

(2) 四半期損益計算書
 (第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業収益	2,384,393	2,272,243
営業原価	2,090,771	1,972,061
営業総利益	293,621	300,181
一般管理費	268,064	264,793
営業利益	25,557	35,388
営業外収益		
受取利息	528	481
受取配当金	1,943	2,296
会員権消却益	99,916	93,092
その他	25,921	13,112
営業外収益合計	128,310	108,983
営業外費用		
支払利息	12,537	11,786
社債発行費償却	—	29,019
その他	15,016	16,643
営業外費用合計	27,554	57,449
経常利益	126,313	86,921
特別利益		
受取補償金	—	359,994
特別利益合計	—	359,994
特別損失		
固定資産除売却損	1,566	1,305
投資有価証券評価損	8,680	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,721	—
災害による損失	6,498	6,496
特別損失合計	31,467	7,801
税引前四半期純利益	94,846	439,114
法人税、住民税及び事業税	24,502	188,766
法人税等調整額	10,132	△13,178
法人税等合計	34,634	175,588
四半期純利益	60,212	263,526

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	94,846	439,114
減価償却費	184,181	185,716
災害損失	6,498	6,496
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,721	—
のれん償却額	53,804	506
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△19
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,120	14,873
賞与引当金の増減額(△は減少)	325	1,570
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△23,370	10,550
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,872	5,442
受取利息及び受取配当金	△2,472	△2,778
会員権消却益	△99,916	△93,092
社債利息	12,537	11,786
社債発行費償却	—	29,019
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,566	1,305
投資有価証券評価損益(△は益)	8,680	—
受取補償金	—	△359,994
売上債権の増減額(△は増加)	44,984	11,168
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,197	△9,560
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,367	△5,675
その他	1,280	66,615
小計	277,477	313,044
利息及び配当金の受取額	1,985	2,122
利息の支払額	△12,550	△12,060
災害損失の支払額	—	△6,605
補償金の受取額	—	377,889
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△149,927	1,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,985	676,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△241,758	△79,357
有形固定資産の売却による収入	11,812	8,895
無形固定資産の取得による支出	△35,279	△1,369
投資有価証券の取得による支出	△3,165	△3,015
保険積立金の積立による支出	△133,126	△7,831
保険積立金の払戻による収入	125,739	98,272
その他	△14	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△275,791	15,597

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	1,670,980
社債の償還による支出	△50,000	△1,750,000
長期預り保証金の返還による支出	△12,083	△23,907
配当金の支払額	△69,357	△68,993
その他	△155	△489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,595	△172,409
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△290,402	519,341
現金及び現金同等物の期首残高	2,309,969	2,323,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,019,567	2,842,506

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。